

修士課程科目(H31)		授業形態	講義	先端バイオ：選択必修2単位 高度メディカル：自由2単位 グローバル医科学：選択必修2単位
科目名	再生・先端医療学	ナンバリング コード		先端バイオ：GDMFB1012 高度メディカル：GDMAM1014 グローバル医科学：GDMGM1011
テーマ	再生医療や先端医療、移植医療について学ぶ			
開講時期	1年後期 木曜日 6限			
授業場所				
担当教員	小賤健一郎（遺伝子治療・再生医学分野）			
G I O	再生医療や移植医療をはじめとした先端医療について理解し、その研究開発から臨床応用・実用化にいたる総合的な知識と研究手法を習得する。			
S B O	1) 幹細胞について説明でき、再生医療について理解し、現状や問題点を説明できる。 2) 遺伝子治療をはじめとする先端医療を理解し、説明できる。 3) 移植医療の現状と問題点について説明できる。			
授 業 内 容 （ 9 0 分 × 1 5 回 ）				担 当 者
	1. (総論) 先端医療の開発の総合的理解(研究・法規・倫理・臨床応用・実用化) 2. バイオ研究と先端医療技術 3. 生体のマイクロ構造を解明する最新の電子顕微鏡技術 4. 発生と幹細胞 5. 幹細胞の再生医療への応用 6. 体性幹細胞と再生医療 7. 癌と幹細胞の接点 8. 整形外科領域の革新的な医療技術 9. 遺伝子治療の最前線 10. 移植医学：拒絶反応・自己非自己の認識 11. 移植医療の実際 I～肝臓移植 12. 移植医療の実際 II～腎臓移植 13. 移植医療の実際 III～造血細胞移植 14. 異種移植研究 15. (総括) 各授業を踏まえて次世代医療を考える			小賤健一郎 伊知地暢広 入江 理恵 三井 薫 三井 薫 西村 正宏 高尾 尊身 永野 聡 小賤健一郎 松原修一郎 高尾 尊身 山田 保俊 西川 拓朗 山田 和彦 小賤健一郎
教科書・参考書	特になし			
評価基準 および方法	出席状況(70%)、積極的な授業への参加(20%)、レポート(10%) ：A)80-100, B)70-79, C)60-69, D)59点以下			
アクティブ・ ラーニング	方法：学習の振り返り(ミニツツペーパー、授業シート、ポートフォリオ等) 回数：15回中2回			
時間外対応	オフィスアワー	10:00 - 17:00 (アポイントが望ましい)		
	メール・HP	小賤 健一郎：kosai@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp 三井 薫：kaorum@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp		
	授 業 後	相談等の対応は授業後に行う。		
そ の 他	研究室の見学ならびに研究ボランティアとしての参画が可能です。			

